

テーマ：「学科の学位プログラムレベルと科目レベルで学習成果の達成状況を評価し査定（アセスメント）する」  
～1年間の授業内容を振り返り、次年度に向けて検討する～

日時：2022年2月22日（火）11：15～13：30

場所：福祉専攻科棟 C102 講義室

担当：村上知子 柴田英登

参加者：太田、吉岡、石野、上野、柴田、百海、中村、三浦、  
水上、村上、森田、山田、米川



昨年度から継続しているアセスメントポリシーについての研修会である。今回は以下の2点について、4～5人のグループに分かれ話し合い、その後全体シェアを行った。

- (1) 遠隔授業を実施して2年経とうとしているが、その授業内容や取り組み方を評価する。
- (2) 学習評価シートの項目（特に◎）を成績につなげるようにどのような工夫をしていくか。

#### 【全体シェアの内容】

##### (1) 遠隔授業について

- ・2年目はGoogle クラウドの浸透により、教員側が対処しやすくなった。一方で、1年生にはGoogle ドライブの入り方が分からない学生がいる。初年次教育にて、情報機器操作を学ぶ時間を設けたい。
- ・学生からの課題提出方法が、WORD (Windows) だったりドキュメントだったりして様々。それらに対応するためにも、教員側に勉強する時間が必要。
- ・オンラインでのグループワークの良さもあるので（周りに人がおらず自分の発言に集中できる等）、工夫する余地がある。
- ・自分の労力を使っての手書きか？資料をコピーペーストできるデータ入力か？学生の学力向上のためになる方法を考えたい。技術の進歩と学習効果の兼ね合い
- ・今まではスマホ対応を念頭に課題を考えてきたが、学生側の情報機器環境を整える方向を考えるといいのか？
- ・遠隔の場合、視聴覚教材を使用しにくい、授業をYouTube化するとデータが軽くなり使うことができるらしい。

##### (2) 学修評価シートの活用について

- ・授業の最初に本授業のねらいを伝えると共に、◎項目を伝える。各授業毎も。  
(ex. 「本授業の◎は、③と⑤と⑩です」「本日の授業は③をねらいにしています」など)
- ・授業のまとめである第15回に、◎項目を書き出し、各学生に自己評価させるとよいのでは？
- ・プレゼンやグループワークありきで◎を選んでいると、遠隔授業になった場合に評価をつけることが難しいのでは？
- ・授業担当者が評価項目を意識した授業をする必要があるだろう。

今回の話し合いの結果をもとに、次回FD研修会（3月8日（火）11:30～）にて、来年度に向けての改善点を非常勤講師も含めて考える予定である。